

やる気発生装置

| 高校(3年) | 中学(1,2年) | | | 高校入試 | |
|--------|----------|--------|----------|-------|-------|
| 北稜 | 修学院 | 高野 | 近衛 | 私立 | 公立前期 |
| 1/27~ | 2/16~ | 2/18~ | 2/18~ | 2/10 | 2/17 |
| 学年末考査 | 第4回定期テスト | 学年末テスト | 第4回定期テスト | | |
| 4日目 | あと17日 | あと19日 | あと19日 | あと11日 | あと18日 |

受験学力は断面に過ぎないけれど

年が明けて、1月もあっという間に過ぎようとしています。今月のうちに仕上げておかねばならなかった事がまだいくつも残っている状態で、手際の悪さを反省しつつ、日々やることをしっかりやっている受験生はじめ生徒さん達の姿を頭が下がる思いで見えています。きのう29日には、1月に教室に勉強しに来てくれた延べ人数が200名を超えました。この時期の生徒数は、毎日やってくる受験生がその年に何人いるかによって大きく変動するので年ごとの差が大きいんですが、ここ数年では多いほうのペースで推移しています。そして最近では、直前期の受験生というよりもむしろ、1・2年生が席を埋めていくようになってきました。これからさらに成長していく生徒さんたちに、希望を感じています。

大学受験はすでに本番に突入していますし、メインの日程を終えた私大も結構あるのですが、文科省の方針としては「学力試験を中心とした方式での入試は2月1日以降にしてほしい」ということのようにです。受験学力だけでなく、プレゼン・小論文・活動実績などの多方面での力を評価する入試にしていこうという方向性もその背景にあります。ただ、評価が多様化するにしても「総合的にすぐれた学生を合格させたい」という意図であれば、そこにはどうしても限界が生じます。人間の総合力なんて、そもそも簡単には判定できないからです。それは受験学力であっても同じことで、「受験合格」というのは結局はその人の能力のいち断面を見た結果であり、人間そのものの優劣などでは決してないのです。そのことを直視しないままむやみに入試制度が複雑多様になり、「受験のための資格取得」「受験のための探究活動」などに奔走するようになったとしたら…、それはとても虚しいことだと僕は思います。

学力は数ある能力の1つに過ぎません。でも、それを人生のある時期に、目標を持って一心に磨くということにはやはり意味があると信じています。そんな営みが、教室では日々続けられています。



1月の間、何度か最強寒波の到来が報じられ、大雪に見舞われた地方も多数あるようです。京都では幸い、まだ雪かきが必要なほどの雪は降っていませんが、3月下旬に雪が積もることもあるので、油断なく雪と寒さに備えたいです。

当面の教室予定

1/30(金)

16:00~22:00

1/31(土)

16:00~22:00

2/1(日)

16:00~21:00

2/2(月)~2/6(金)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。